

## 国立市コミュニティワゴンの評価（目標値）について

### 【これまでの評価基準】

国立市コミュニティワゴンの評価については、平成26年度第2回地域公共交通会議のなかで評価方法について以下の通り提示、採用した。

### ■評価基準

- ・評価レートは、A,B,Cの三段階とする。
- ・A：本格運行へ移行、B：さらなる試行運行の継続、C：抜本的な見直しとし、評価基準（案）は以下の通りである。
- ・「B:さらなる試行運行の継続」では、ルートは概ね固定とするが、ダイヤ等については随時改善を重ねることとし、利用向上を図るための試行運行を継続する。
- ・「C:抜本的な見直し」については、現在の試行運行のルート、ダイヤの抜本的見直し、また、コミュニティワゴン以外の方法への移行も含むものとする。

表1 評価基準（目標値）（ルートごと）（案）

	A	B	C
1日あたり利用者数	70人以上	50～70人	50人未満
財政投入額(年間)	550万円以下	550～900万円	900万円以上
収支率	30%以上 (営業係数 330 以下)	20%以上 (営業係数 500 以下)	20%以下 (営業係数 500 超)

※A,Bについては原則として全ての評価項目で目標値を満たすものとするが、状況に応じた判断を行うこととする。

### 留意点：

- ・旧くにつこバス青柳・泉ルートの利用者数、収支との比較をあわせておこなう。
- ・高齢者、しょうがい者等の外出に寄与しているかについても考慮する。
- ・財政投入額についてはコミュニティバス事業全体での収支全体で考える。